

🌻 トルコ旅行記

- ギョレメ野外博物館へと行く (カッパドキア その4) - 🌻

20ページ



(写真説明 ギョレメ野外博物館へと向かう途中の風景。)



洞窟の家の家庭訪問のあとはギョレメ野外博物館へと向かう。
ギョレメの町の南からオルタヒサルへと向かう道の途中にこのギョレメ野外博物館はある。
いきなり上り坂になったところに、博物館の入り口はある。



(写真説明 左：オルタヒサルへと続く道。右：入り口の表示。)

ここには迫害から逃れ定住したキリスト教徒が造った多くの岩窟教会が集まっている。



(写真説明 左：聖バジル教会。右：リングの教会に向かって進む。)

入ってすぐ右手には「聖バジル教会」が現れる。

「○○教会」とかと言ってもすべてが岩をくり抜いて造った教会であり、岩なのか建物

なのかはわからないが、入り口があり、そこから入って初めて教会とわかる。
この聖バジル教会は中へは入らなかったが、かなり背が高く、写真には収まりきらない。



(写真説明 左：リング教会へ入ろうとするところ。右：リング教会の中から抜けるような青空を見る。)

続いては「リングの教会」へと行く。

結構たくさん人で、中をじっくり見るために、少し順番待ちをする。

入り口から入ると、いったん外が見える。見上げると抜けるような青空である。



(写真説明 左：西側の谷を見る。右：鳩の巣。)

入ると西側の谷が見える。(北西方向)

多くの穴が見え、一体どうやってあんなところに行ったのだろう

と思うようなところにまで、穴が開いている。

右の写真はその一部のアップ。鳩の巣がたくさん見える。



(写真説明 左：西側の谷を見る。右：鳩の巣。)
同じく西側の谷の南西方向である。
このように鳩をたくさん飼っていたのは、そのフンを肥料にしたらしい。なるほどと感心する。

「フーン。」

このような狭い地域に隠れ住むためには、さまざまな工夫が必要だったようだ。



(写真説明 リング教会の中のフレスコ画。)

中に入ると、岩をくり抜いて造った教会の中がこんな構造なのかと驚く。いや逆に、岩をくり抜いたからこそ、このように自由に形づくれるのだろうか。

ドームやらアーチ形やら、下から積み上げたのではなく、岩を掘って好きな形に造ったのかと思う。そして、キリスト教であるから、十字架やらイエスの像が描かれている。しかし、かなりの絵の顔の部分の削り取られている。これも偶像崇拝を禁止するイスラム教徒のなせる業か。

なぜこの教会の名が「リング教会」というのだから、聞き忘れてしまった。いやきつとガイドのエラさんはしゃべっているはずなのだが、あまりにも多くのことを聞きすぎて、記憶していないのである。このツアーから帰ったあと、清水義範の本を読み、彼は旅行ではメモ魔で（ついでに彼の連れあいも）、ガイドさんの言ったことを何でもかんでもメモしまくるというのを読み、自分ももっとメモ魔になればよかったと思ったのだ。本当に現地のガイドさんの話ほど面白いものはない。しかも、今回9日間もトルコにいたので、記憶力のない自分は次々と聞いたことを忘れるのだった。



さて、次は「聖バルバラ教会」へと向かう。

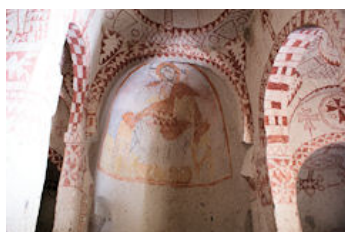
向かうといってもお隣で、「リング教会」を出て、ちょっとした平地で待つだけなのだった。

このような教会を見るたびに、いや、カッパドキアのくり抜かれた岩窟を見るたびに、これが崩れることはないのだろうかといついつい心配になるのだが、崩れる気配はないらしい。

直前にお邪魔した家庭訪問の時の話では、くり抜いて新しい部屋をつくり、それが水を吸って、次第に固くなっていくそうである。つまり、時間がたてばたつほど堅牢になるらしい。



(写真説明 上3枚と下：聖バルバラ教会の内部)



「聖バルバラ教会」の内部は先ほどの「リング教会」に比べて色の数も少ないし、デザインも単純で、かなり違った雰囲気である。

ガイドのエラさんがいろいろと説明してくれるが、説明に際して壁画をさわりながら、指さしながら説明するので、「あれ？こんな壁画にさわっていいの？」とか思いながら聞いたのだが、まあ現地のガイドさんがすることなのでいいのだろう。



「聖バルバラ教会」を出て一休み中である。



結構観光客も多く、ガイドのエラさんは説明のためにほかの団体が
出るのを待っている。午後4時半をまわり、ちょっと疲れたおじさん
なのであった。



(写真説明 上3枚：蛇の教会の内部。下：食堂。)



さて、この「ギョレメ野外博物館」では最後に「蛇の教会」を見学
する。

「蛇の教会」の名の由来は、とにかく蛇の絵があるところ。それし
か覚えていない。というか、その説明を聞いて、一体どこに蛇の絵が
あるのだろうと探したからである。そして、その写真を撮ろうと、狭
い教会の中で構図を考えつつ撮影などしていたので、またもやガイド

のエラさんのしゃべったことを覚えていない。ガイドのエラさんの
しゃべったことをすべて聞き書きすれば、かなりのすごいトルコのガイドができあがったはずである。



(写真説明 左：暗やみの教会。右&下：
ギョレメ野外博物館からの遠景。)

最後に暗やみの教会に各自で入る。かな
り上っていくのだった。

遠くの景色がきれいである。(左の写真
の大きな画像は「[カッパドキア・ギョレメ
野外博物館からの遠景](#)」のページをどうぞ。一部拡大画像は下の写真で
す。)



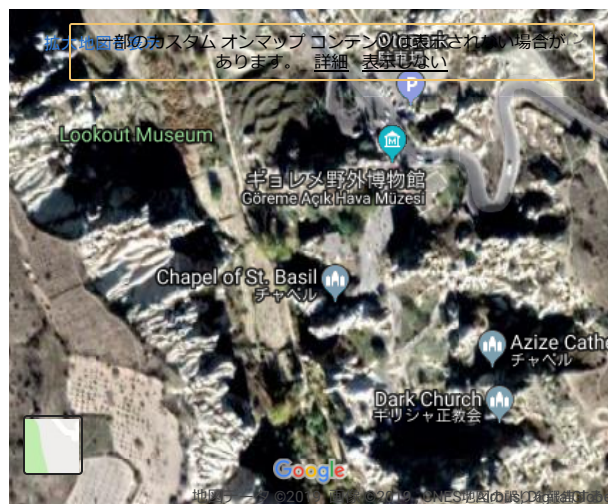
最後に入って来た入り口の方へと下っていく。もう午後5時をまわ
り、本日の見学もこれにておしまいである。

それにしても、このような地形をうまく利用して、よくもまあこれ
だけのものをつくったものだと感心するのであった。



🇹🇷 トルコ旅行記 関連地図 (GoogleMap) 🌷

ギョレメ野外博物館



[大きな地図で見る](#)